

# 新十津川中だより

新十津川中学校  
学校通信  
発行  
平成 22 年 10 月 31 日

## ノーベル賞と闘魚・ベタ



新十津川中学校長 高瀬裕二

北海道鶴川町出身の北海道大学鈴木先生がノーベル賞を受賞しました。今まで困難と言われていた二つの有機物、イメージとしては火の中に入れれば燃える「2つの物質を、なかよく手をつなぎ合わせる」新しい合成方法を確立したことで、ガンの薬、高血圧の薬、抗生物質などの医薬品やテレビの液晶などがつくられたのです。

この「2つの物質が仲良く」とのニュースを聞いて、ちょうど一年前のことを思い出しました。私は校長室のテーブルの上で「ベタ」という魚を赤、青色の2匹飼っていました。ベタは近所のホームマック等のお店にも並べられているので、皆さんも知っている人も多いかと思えます。

理科の先生より「えら呼吸のほかに肺呼吸ができるので酸素をぶくぶくと与えなくてもいいのですよ」「とても飼いやすいですよ・・・」とうまくのせられて、つい飼ってしまいました。

お店でも、ブクブクがいらないので、ビーカーのような容器の中に、一匹ずつ飼われていました。

3学期、受験が近づき面接練習のために校長室に来ていた生徒達から質問がありました。校長先生「どうしてこんな狭い瓶の中で飼うのですか?」「大きな水槽で仲良く一緒に飼えばいいのに」・・・

実はね、このベタは別名「闘魚」と言って、雌が生んだ卵を雄が守り育てる魚です。近くに寄ってくるものには雌でも追い払い、まして雄なら相手が傷つき弱るまで徹底的に攻撃を続けて子供を守る習性を持っているので、仲間とともに住めない魚なんですよ。～と、理科の先生より教えられたとおり説明しました。でもね、いつも「ベタ」を見て、「金魚やグッピーのように、大きな水槽で楽しそうにそして仲良く住まわせてやりたい」と思っています。そして、今はコップの中のベタを見るたびに、二匹が仲良くなれない習性がわかっているけど、「切ない気持ちで胸が痛みます」とも付け加えました。

学校生活や学級生活でみんながベタであつたらどうなるでしょうか。それぞれの活動でみんなが一人一人理由をつけ相手の心を傷つけます。それは全然楽しくありませんし、相談できる仲の良い友達もいません。とても切ない学校ですね。長年にわたり新十津川中学校には全校生徒全員で取り組む「Be-Happy 集会」があります。

まさしくそこそいじめを無くし、みんなが仲良く勉強ができる学校を創っていこうという、ノーベル賞にも負けない生徒会の強い願いなのです。今年は11月26日の公開研究会に集会を行います。生徒全員みんなが「Be-Happy」であるよう、一人ひとりが真剣に考えて集会に臨みます。是非授業参観と併せてご覧いただけますと幸いです。

※WEBにて新十津川中学校の様子を発信しております。

WEB 校長室 青雲の志【<http://www1.odn.ne.jp/~aao32720/index.shtml>】